

「由布市異業種交流会 2019」開催報告

1. 企画内容

✚ 開催日時、場所

日時：令和元年11月7日（木） 16:00～20:30

場所：第1部 クアージュゆふいん／第2部 由布院ことぶき 花の庄

主催：由布市

共催：由布市商工会

✚ 参加者数

第1部	一般参加者 51 名 大分県事業引継ぎ支援センター1名、市・商工会等 35 名 計 87 名
第2部	一般参加者 56 名 市・商工会等 21 名 計 77 名

🌈 プログラム

【第1部】

16:00 情報提供	大分県事業引継ぎ支援センターの 取り組みについて	大分県事業引継ぎ支援センター 統括責任者 山中 俊弘 氏
	大分県における食品ロスの取組に ついて～おいしい大分食べきりキ ャンペーン～	由布市役所 環境課
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 由布市中小企業者店舗等整備改善 融資金利子補給について ・ 先端設備等導入計画について ・ おおいた中小企業支援ポータルに ついて 	由布市役所 商工観光課
16:15 開会	開会、あいさつ	由布市長 相馬 尊重 由布市議会議長 佐藤 郁夫
16:25 企業紹介	有限会社草庵秋桜 株式会社AKシステム 株式会社ヨーグルトン乳業	代表取締役 太田 慎太郎 氏 常務取締役 清家 栄作 氏 総務部次長 佐藤 浩司 氏
17:05	座談会テーマ 磨き上げてきたもの、磨き上げたい もの、そしてこれから～由布市の企 業がともに輝き続けるために～	座長：由布市商工会長 利光 直人 氏
17:40	アンケート記入、移動	

～ 会 場 移 動 ～

【第2部】

18:00	交流会、1分間PR
20:30	閉会

第1部





第2部



2. アンケートの結果

アンケートの取得方法

第1部	会場にて資料とともに配布、1部の終了時に記入後回収。 回収数 48
第2部	後日お礼状とともに送付し返却、またインターネットによる web アンケートを実施。 回収数 13

まとめ

■第1部：企業の取組紹介

- ・他企業の話を知る、ということについては満足度の高い結果であった。
- ・10分程度の時間であることも好評だった。
- ・単なる企業紹介だけでなく、企業が持つ課題、悩み、目標などの共有が共感や理解を深めることにつながっていることがわかる。
- ・満足度が高い一方で、発表者の選定は運営側からの積極的な呼びかけが必要である。

■第1部：座談会

- ・テーマの選定については、より細かい設定が必要であった。
- ・「由布市として one team になることが大事と痛感」という意見のように、由布市としてのまとまりの重要性を再認識する機会となった。
- ・進行についての提案があるため、今後の企画に取り入れることも検討できる。

■第2部：交流会

- ・アンケートからは満足度の高い結果が得られた。
- ・コース料理よりバイキング形式のニーズがある。
- ・一分間スピーチの聞き取りにくさなどの意見があった。
- ・初対面でも交流が深まるように、名刺交換や事前の参加者名簿の提供、職員のサポートなどの必要性が挙げられた。

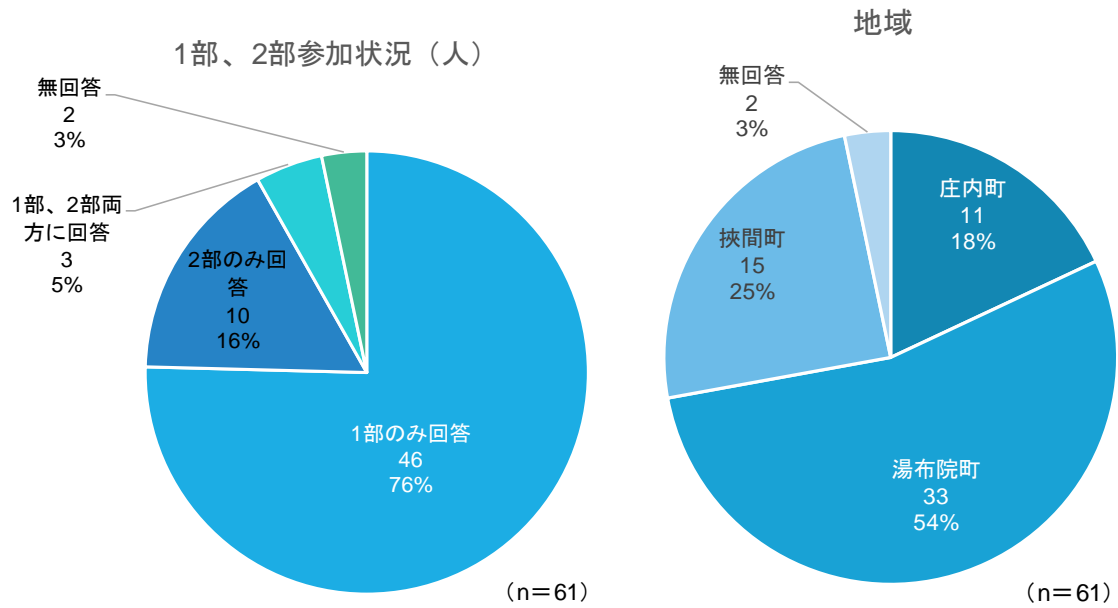
■全体：

- ・開催回数について、年1回より小規模でも複数回をとという意見があった。
- ・聞くだけよりも、テーマに応じてグループごとに議論をするなど話し合い（交流）の場を求める提案があった。
- ・アンケートの回答から得られた興味のあるテーマについて、以下が挙げられた。

異業種間の具体的な連携事例／人手不足に対する取組、成功例（雇用問題）／個人事業主の事業／事業継承の実例紹介／具体的な商品、サービス、技術の紹介／働き方改革／補助金、助成金（ものづくり補助金）／人材育成の取組、手法／3地域の回遊性（観光、体験、見学）／BCP（事業継続計画）／ハラル認証／雇用の受け皿となる企業誘致／雇用確保改善のための定住促進／6次産業化／森林の整備／地球温暖化／SDGsへの取組

- ・2年目の開催であったが、昨年に引き続き、交流会の場で顔見知りとなるという効果があった。日常的には連携や交流の少ない企業、参加者が、異業種交流会の場を通じて交流が深まっていくことによる連携の創出が期待できる会となった。

全体（数字は人数）



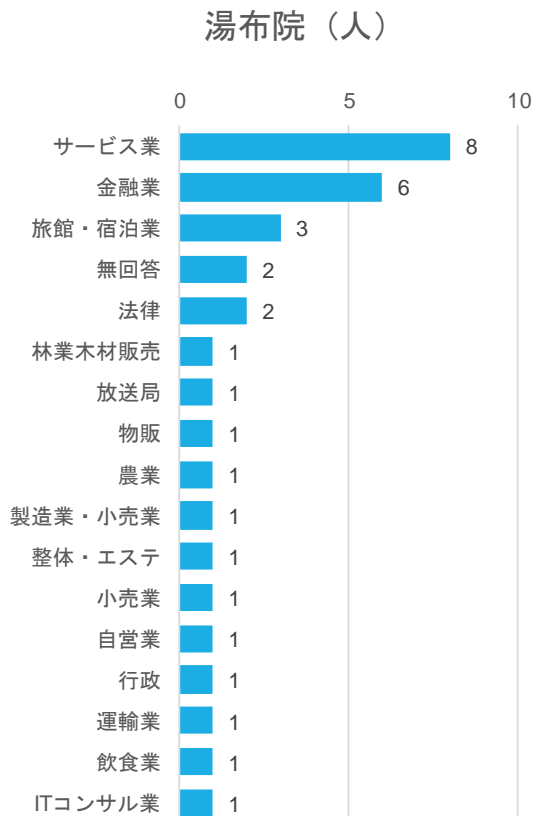
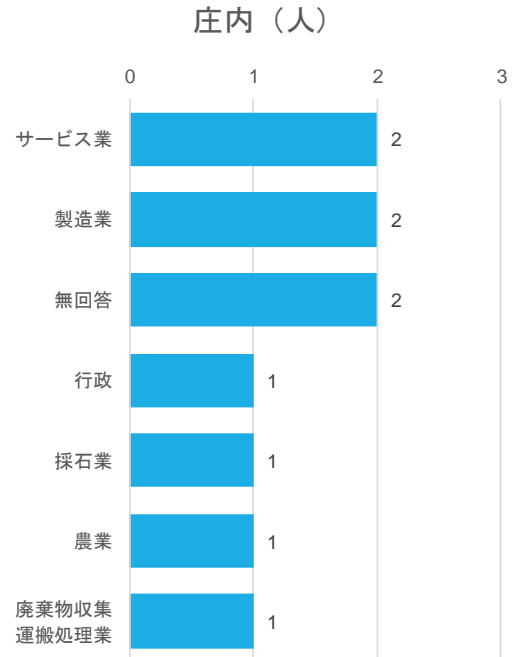
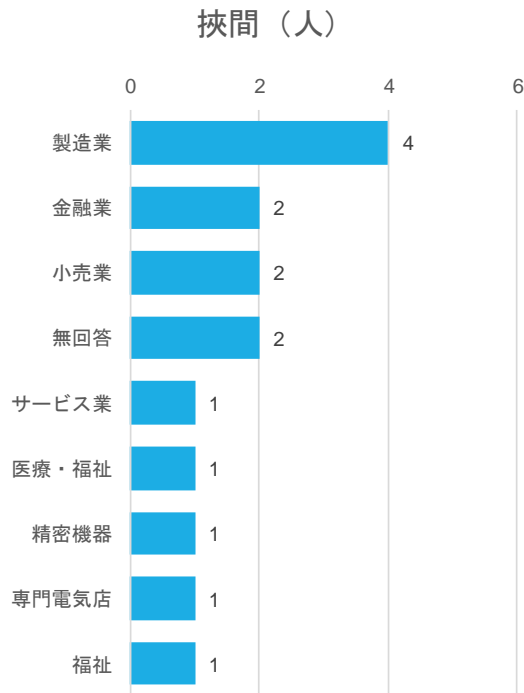
アンケート回答者の76%が1部の参加者である。

回答者の半数を湯布院からの企業参加者が占めている。

地域別回答者数

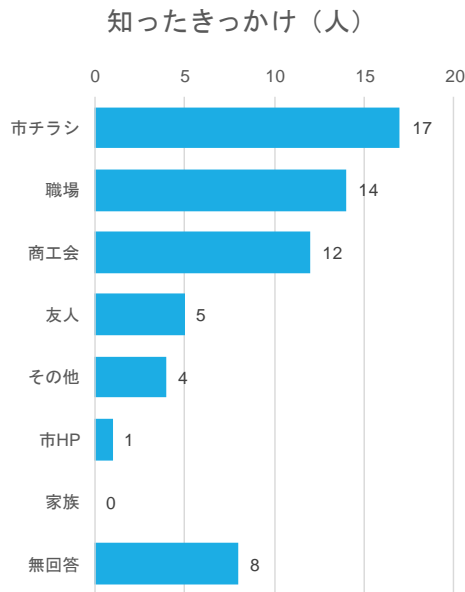
立地	1部	2部	両方	無回答	総計
挾間町	9	6			15
庄内町	10	1			11
湯布院町	25	3	3	2	33
無回答	2				2
総計	46	10	3	2	61

地域別業種



湯布院の企業は挾間、庄内の企業に比べて様々な業種から回答が得られた。

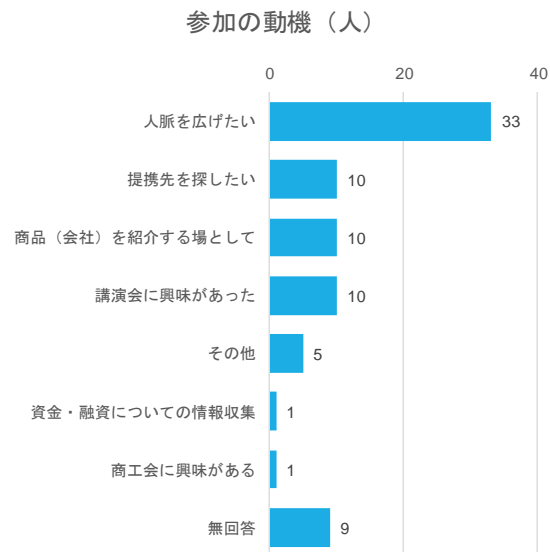
✚ 異業種交流会を知ったきっかけ



異業種交流会の参加きっかけは、「市チラシ」との回答が最も多い。次いで「商工会」「職場」といった、直接的なアプローチによる参加が多いことがわかる。

※その他の回答…「手紙が届いた」「市の職員より」

✚ 参加の動機

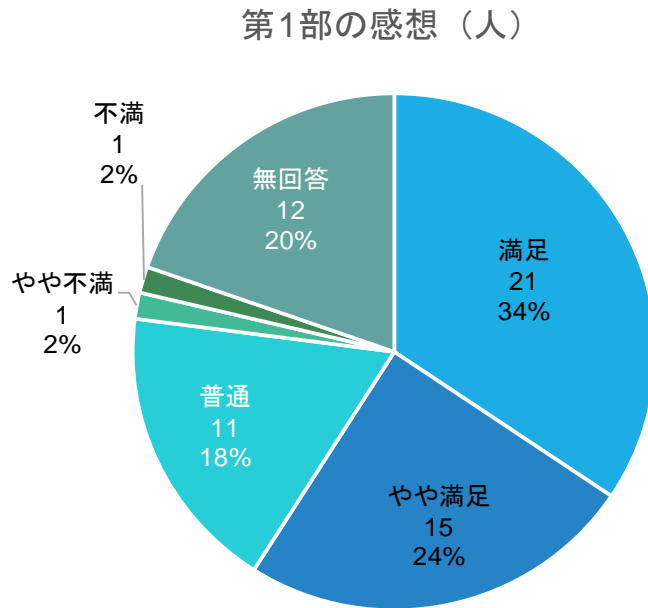


参加動機は、「人脈を広げたい」という回答が最も多かった。その他の回答に「参加要請があったから」という回答も見られたが、全体的に積極的な動機への回答が多かった。

参加の動機 その他の回答

異業種(他産業)のことを知りたかった!!/参加要請があったから/市内企業情報を求めて/市内経済の活性化と由布市の発展/情報収集/情報収集(資金・融資外)/地域を元気にする為に、企業の力が必要と思っているから/

第1部の満足度

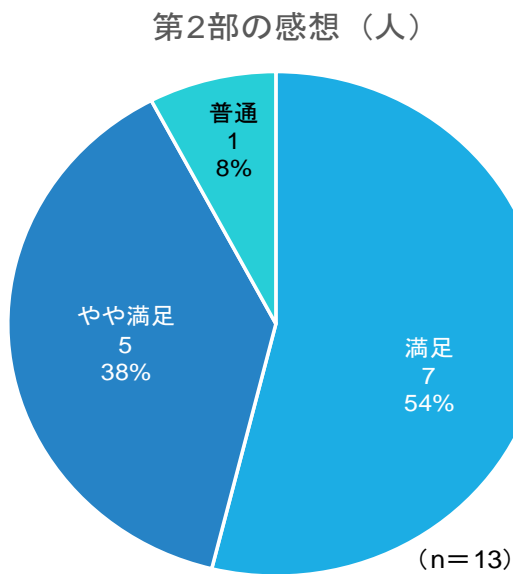


「満足」「やや満足」との回答が58%と回答者の約半数となっている。

「普通」「やや不満」との回答も若干数見られた。具体的な感想が得られた中で、「市内企業を知ることができた」という意見や「テーマの統一感が欲しい」といった意見があった。

座談会についても、テーマやコンセプトが大きすぎるといった意見や提案があった。

第2部の満足度

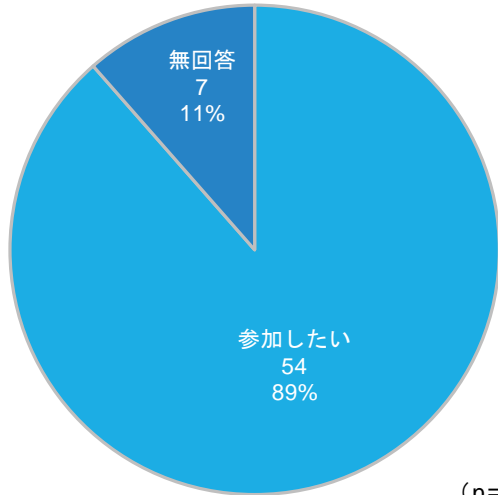


第2部のアンケートの回答数は13人と少ない回答数だったが、「満足」「やや満足」との回答が92%となった。

改善点や要望等の具体的な記述については、時間配分や料理、得たい情報についての様々な意見が得られた。

次回にむけて

次回の参加希望（人）



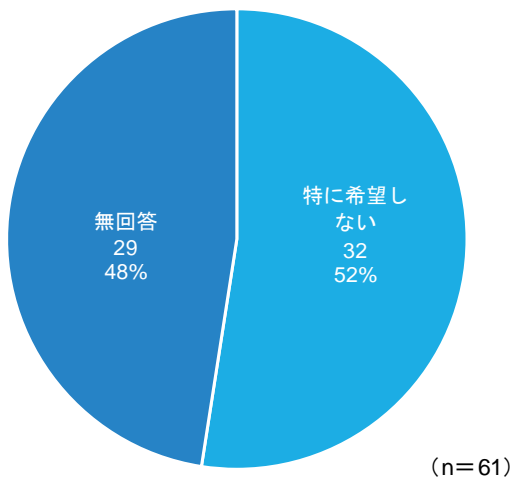
次回の参加希望は約 90%となっている。

参加希望の理由

初めての参加でしたが、こういった機会はないので勉強になったので、次回も参加したいです。／他の町の事業者と交流を図る機会が少ないから、よいチャンスと思う。／大変良い企画です。以降も是非参加させて頂きたいです。／地域の企業について知る機会となるため。／

取組の発表希望について

取組の発表希望（人）



「希望する」との回答は得られなかった。他企業の話聞くことについては満足度が高いため、紹介企業を集める部分については、積極的な声かけが必要である。